

園芸の担い手育成と産地の活性化・ブランド力向上【担い手支援課 園芸振興班】

現状・問題点

- 【野菜】**米価の下落や米の生産調整の拡大に対応して、園芸に取り組む主製作経営体が増加するとともに、基盤整備事業実施に伴う高収益作物の導入への対応が必要である。
- 【果樹】**呉羽梨産地では高齢化による廃園が増加し、新規生産者の確保が喫緊の課題となっている。黒星病に加え、令和3年は開花期の霜害で収量品質が低下するなど安定生産への対応が必要である。
- 【花き】**小ギクは主力の旧盆需要期における単価低迷への対応、出荷本数が増加傾向にある切り花シャクヤクは新たな切り花需要や出荷先の確保、収穫作業の効率化が課題となっている。

課題解決のための方向

- 【野菜】**広域産地形成品目及び1億円産地づくり品目等の生産拡大を図るため、省力化の推進、農地整備事業実施地区における高収益作物の導入、スマート農業化を支援する。
- 【果樹】**樹園地マッチングによる新規生産者の確保や、黒星病被害の軽減、新品種「香麗」等生産・出荷支援による流通販売対策の強化、新たな凍霜害対策を推進する。
- 【花き】**小ギクは販売価格を安定させる契約出荷を支援するとともに、切り花シャクヤクは、母の月需要に対応したトンネル被覆による開花期の前進を推進する。

課題

野菜

1億円産地づくり品目等生産体制強化と担い手育成

主な活動内容

1 JA等と連携した園芸品目の導入支援

- 事例紹介・各JA園芸導入研修会開催支援等による新規生産者の掘り起こし(写真1)



写真1 白ねぎの機械化体系研修会(林農産)

2 農地整備事業に伴う高収益作物導入支援

- 「農地整備事業チーム会議」を設置し、JA、指導課と連携した高収益作物の導入支援

3 スマート農業の推進

- 国委託事業(R2~3年)を活用し、富山市水橋地区で大区画水田ほ場における高収益作物(たまねぎ+にんじん)の省力機械化一貫体系を実証

主要達成目標と成果

1 各JAの1億円産地づくり品目の取り組み実績

JA	品目	H22実績			R3実績		
		栽培面積 (ha)	出荷量 (t)	販売金額 (千円)	栽培面積 (ha)	出荷量 (t)	販売金額 (千円)
JAアルプス	ねぎ	21.4	360	135,413	9.0	105	32,400
	さいも	17.5	85	26,543	14.0	64	22,800
JAあおば	にんじん	0.2	0.6	73	14.5	292	14,744
JA富山市	ばれいしょ	0.1	0.6	60	8.4	103	5,647
JAなのはな	キャベツ				4.2	172	9,500
	軟弱野菜	11.0	90	32,797	13.6	74	30,000
JA山田村	りんご	2.5	34	12,344	4.3	24	10,197

2 農地整備事業実施地区における高収益作物導入状況

3JA(アルプス、あおば、なのはな) 5地区でたまねぎなどの品目を検討中

3 スマート農業の実証成果

- ロボットトラクタ(写真2)等の活用で
たまねぎ:作業時間 目標:▲20% **実績:▲12.8%**
単収 目標:+10% **実績:+63.1%**



写真2 ロボットトラクタによるうね立て同時施肥・は種

令和4年度の主な活動内容

1 園芸品目の導入支援と新規担い手育成

- JAの「1億円産地づくり加速化計画」は令和3年度で終了したが引き続き戦略品目への支援は継続
- 令和4年度から、戦略品目に加え地域(市町村)で振興する品目の底上げを目的に「稼げる!園芸産地プラン」がスタートしたことから、①市町村プラン(稼げる!園芸産地プラン)の策定や②産地をけん引するリーディング経営体の育成(課題解決実証ほの設置・研修会の開催等)を新たに支援

2 水田での高収益作物の生産拡大、収益向上支援

- 農地整備事業チーム会議での所内情報共有と重点プロジェクト事業による定着・生産拡大支援

3 スマート農機の活用支援

- 土壌水分センサー(写真3)やロボットトラクターの活用支援(たまねぎ・キャベツ)



写真3 土壌水分センサーでかん水のタイミングを見える化

果樹

呉羽梨産地の活性化

1 新規生産者確保対策推進

- 新規生産者への廃業者の樹園地マッチング

2 黒星病対策による生産性向上

- プロジェクト活動による発生予防と落葉処理指導

3 新品種「香麗」(写真4)等生産・出荷支援

- 新品種「香麗」の栽培実証ほ設置

4 凍霜害対策支援

- モニタリングシステムによる樹園地気温データ収集と燃焼法の実証(写真5)



写真4 新品種「香麗」

1 新規生産者の確保数

(R3目標:3人) → R3実績: 7人

2 「幸水」黒星病減収率

(R2:1.7%、R3目標:1.0%)

→ R3実績: 0.9%

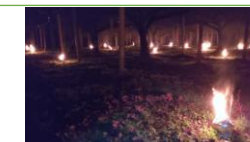


写真5 凍霜害対策(燃焼法)の実証

呉羽梨産地の出荷販売実績

年	面積 (ha)	出荷量(t)			販売金額(千円)		
		選果場	産直先売	合計	選果場	産直先売	産直単価
H29	137	2,186	1,109	3,295	671,000		503
H30	135	1,545	1,070	2,615	534,255		520
R1	133	1,942	1,100	3,042	717,462	572,000	520
R2	130	1,020	900	1,920	539,917	468,000	520
R3	128	1,062	450	1,512	434,326	240,750	535

1 新規生産者確保対策推進

- 新規就農者への栽培技術支援、梨クラブ活動支援

2 黒星病対策による生産性向上

- 黒星病発生実態把握と対策指導(PT活動:発生調査、防除指導、発生リスク評価、情報発信等)

3 新品種「香麗」(写真4)等生産・出荷支援

- 「香麗」の選果場、市場出荷の検討
- 選果場の運営支援・加工業務向け出荷の検討

4 凍霜害対策支援

- 園地気温モニタリングシステムを活用した凍霜害対策実施支援

花き

切り花産地の育成

1 小ギクの契約出荷達成支援

- 開花予測調査に基づく開花調節と出荷指導

2 切り花シャクヤクの産地体制の強化

- 母の月需要(写真6)に対応したトンネル被覆による出荷期間の前進による安定出荷支援

1 小ギク契約出荷達成率

(R2:116%、R3目標:100%)

→ R3実績: 107.2%

切り花シャクヤク出荷本数

(R2:41千本、R3目標:55千本)

→ R3実績: 80千本



写真6 JR富山駅でのシャクヤクPRイベント

1 小ギクの契約出荷達成支援

- 契約的出荷に向けた作付計画作成支援

2 切り花シャクヤクの産地体制の強化

- トンネル被覆促成栽培による開花期前進而、出荷拡大に向け収穫作業ピーク分散を実証